

次世代医療機器開発人材育成プログラム



概要

医療機器開発の事業化、または医療ニーズを解決することを目的としている企業の方を対象とした教育プログラムを実施します。次世代を担う若手研究者、開発者の育成を医師、企業と共に実践できる場を提供します。企業での開発経験者・PMDA審査経験者による開発指導・業事相談も行います。「PMDAワークショップ」、「医療機器操作実習」などを通じ、次世代を担う若手研究者、開発者を育成します。保険診療化・事業化を見据えた教育カリキュラムと人材キャリアアッププランを実施します。保険収載から事業化に焦点を当て、各方面の一線級の講師による講義を行います。

アクティブラーニング



医療機器操作実習(岡山理科大学)



PMDAワークショップ

医療ニーズの探索とマッチング



概要

岡山大学病院のみならず県下の基幹5病院から医療現場の困りごと・ニーズを集約し、Webで公開します。集まったニーズから候補企業を紹介・情報提供を行い、マッチングを提案します。有望なニーズは、マッチングWebシステムを通して、事業化を目指す企業を募集し、マッチングを図ります。



ピスコロール



ナースキャッチ



ソックスエイド



シンポジウム



概要

拠点間連携として、岡山大学、神戸大学医学部附属病院、鳥取大学、広島大学、大分大学と連携して教育やマッチングの取り組みを紹介し、企業の開発を後押しします。

連携先 北海道大学、京都大学、大阪医療センター、神戸大学医学部附属病院、鳥取大学、広島大学、大分大学 など



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

次世代医療機器連携拠点整備等事業
オープンイノベーションと事業化推進を目指した医療機器開発中核拠点整備

国立大学法人 岡山大学 / 岡山大学病院

お問い合わせ

岡山大学病院 研究推進課 〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

Tel.086-235-6088 Fax.086-235-7552

E-mail:iryokiki@cc.okayama-u.ac.jp

http://mwjp2.csv.okayama-u.ac.jp/iryokiki2



次世代医療機器連携拠点整備等事業

オープンイノベーションと事業化推進を目指した医療機器開発中核拠点整備

当院では医療機器を開発する企業の人材育成のため、そして様々な医療ニーズを解決し、病院を利用される患者さんやそのご家族に快適に過ごしていただくための研究開発、ものづくりに力を入れています。岡山大学病院と岡山県下の連携病院で構成するメガホスピタルのスケールメリットを生かし、医学のみならず看護、介護、リハビリテーション、歯科領域、在宅医療など幅広い医療ニーズを集め、企業とのマッチングを進めます。さらに、大学、行政、産業界の連携による「やさしい医療」を皆さまへ提供し、企業の開発人材の育成と更なる医療の発展を目指してまいります。

4つの活動を展開

病院でものづくり
(インキュベーションラボ)



次世代医療機器開発
人材育成プログラム



ニーズマッチング



シンポジウム



岡山大学病院が“ものづくり”の現場に！

1 医療ニーズの探索とマッチング、 2 次世代医療機器開発人材育成プログラム、 3 病院・医局滞在型OJT、 4 拠点間連携で、あなたの「もの・コトづくり」を支援！



体制

・岡山大学病院、岡山大学研究推進機構医療系本部が一体となり、院内の各部門との調整を行いながら開発人材の育成をサポートします。
 ・受け入れ診療科の教職員(医師・歯科医師等)、関連する部門・センターのコメディカルスタッフが企業開発人材の受け入れを行います。
 ・院内に設置したインキュベーションラボにおいて、企業の開発経験者が試作品の製作をサポートします。

病院でものづくり(インキュベーションラボ)



概要

医療機器の多くは、医療現場のニーズから生まれます。医療現場には多くの課題やニーズがありますが、企業がそれらを把握する機会は多くありません。岡山大学病院は、企業の開発者が共同研究員の立場で病院内で活動する拠点となるインキュベーションラボ(i-Labo)を病院内に設けました。医療現場を直接目で見てニーズ探索し、製品や試作品を持ち込んで医療従事者の意見を聞き、医療従事者と対等な立場で意見交換する機会を得ることによって、医療機器メーカーのみならず、ものづくり企業、IT企業等の開発を支援します。



できること

- 医療現場に立ち入り、現場の観察ができる
- 岡山大学病院内の「インキュベーションラボ」で医療従事者の助言のもと試作品を製作できる
- 企業の開発者と医療従事者とが自由に意見交換できる
- 最終的に製品の事業化を目指すことができる
- 病院内での活動は企業の計画に合わせて柔軟に対応できる

受入診療科・部門

- ・放射線科 ・IVRセンター ・手術部 ・ペインクリニック ・麻酔科・蘇生科 ・救急部 ・集中治療部 ・産産期管理センター
- ※ 順次拡大予定

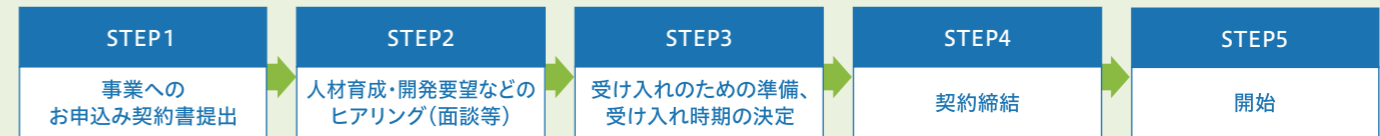
導入教育の内容

- ・医療倫理に関する座学 ・ガウンテクニック、医療安全 ・院内感染対策、ワクチン接種 ・現場スタッフとの顔合わせミーティング

お申込み方法

岡山大学共同研究契約に基づく契約を締結

共同研究は、本学教職員と民間企業との研究者が共通の課題について対等の立場で共に研究開発を行い、事業化を目指すことを目的とします。



受け入れに掛かる諸費用

	直接経費	間接経費	受入研究料	1名あたり計
6か月プラン	30万円	9万円	21万円	60万円
12か月プラン	60万円	18万円	42万円	120万円

・企業開発者は「共同研究員」として大学病院へ派遣され、学内の通信環境、情報利用が可能となります。
 ・試作品の開発に必要な設備利用料、材料費、水道光熱費、旅費等は直接経費に含まれます。
 ・詳しくは「岡山大学共同研究規定」をご確認ください。

インキュベーションラボ

